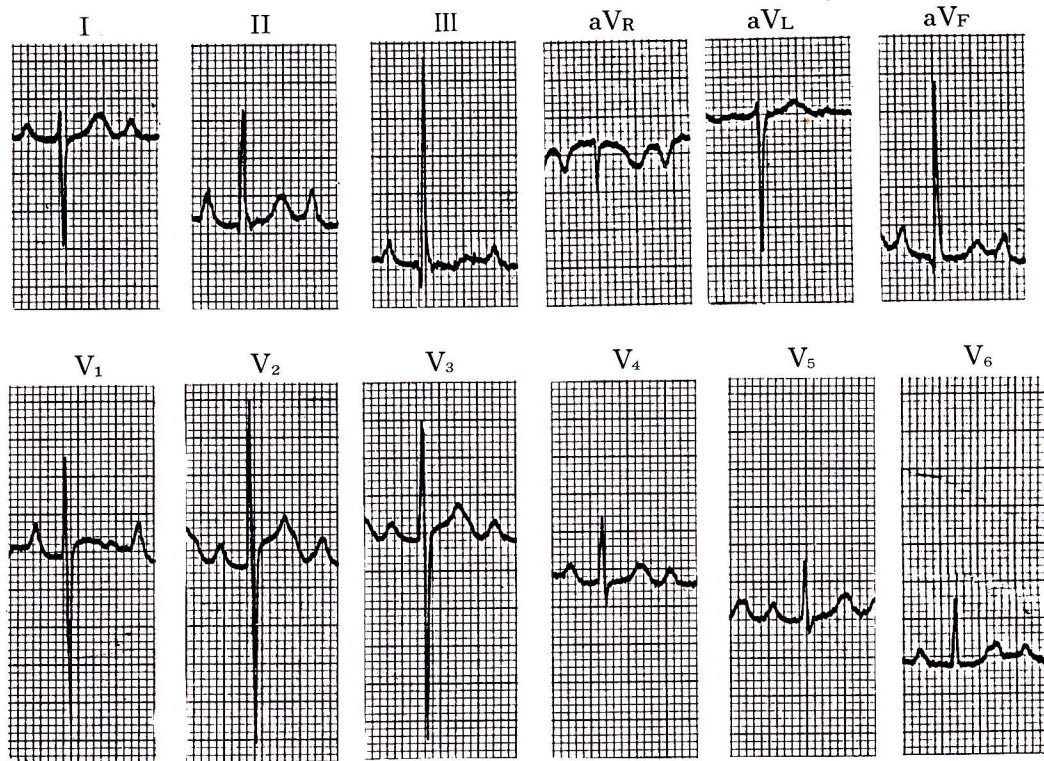


症例 10

●10歳 女

●ファロー四徴症根治術後の患者。



- 1) II, III, aVF, V₁に尖鋭な陽性P波がみられるが、どう考えればよいか。
- 2) 前額面電気軸はどうか。

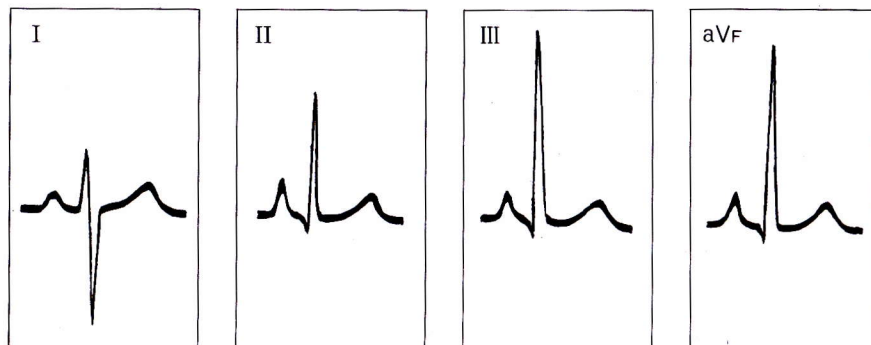
肺性P波，右心性P波，右軸偏位

IIのP波3.5mm，III，aV_FのP波2.5mmで尖鋭．これは肺性P波（P pulmonale）の基準を満たしている．また，V₁のP波は3mmでかつ尖鋭であり，右心性P波（P dextrocardiale）の基準を満たしている．これらの所見は右房負荷の存在を示している．前額面電気軸は+115°で右軸

偏位である．V₁のR/S<1で，V₅，V₆のS波も浅く右室肥大の基準は満たしていないが，IIIのR波が27mm，aV_FのR波が23mmと高く，右軸偏位，右房負荷の所見と考え合わせると右室肥大の可能性が示唆される．

MEMO

〈肺性P波の典型的パターン〉



II，III，aV_Fに高く(2.5mm以上)，かつ尖鋭なP波